

埼玉県COVID-19セミナー

埼玉県の現状について～5類移行から1ヶ月

2023年6月9日(金)

埼玉県医師会
副会長 丸木雄一

COI開示

埼玉県医師会副会長

丸木 雄一

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある
企業などはありません

新型コロナの感染症法上の位置づけ変更の経緯

2022/11/4衆議院で変更への規定が追加

2023/1/27新型コロナの感染症法上の位置づけ変更が決定

2023/3/10位置づけ変更に伴う医療体制変更

埼玉県5類への変更後の問題点検討委員会

第1回2023/3/16

第2回2023/3/29

第34回さいたま市中央区地域保活ケア研修会

2023/3/3開催

内 容 『 コロナこれから ~5 類になって何が変わる?~ 』

座長 さいたま市与野医師会 丸木 雄一 先生

指定発言

1. 行政の立場から

埼玉県保健医療部

感染症対策課 課長 山口 隆司 氏

2. 医療機関の立場から

・病院

さいたま赤十字病院

院長 清田 和也 先生

・診療検査医療機関

阪医院

院長 阪 真 先生

3. 高齢者施設の立場から

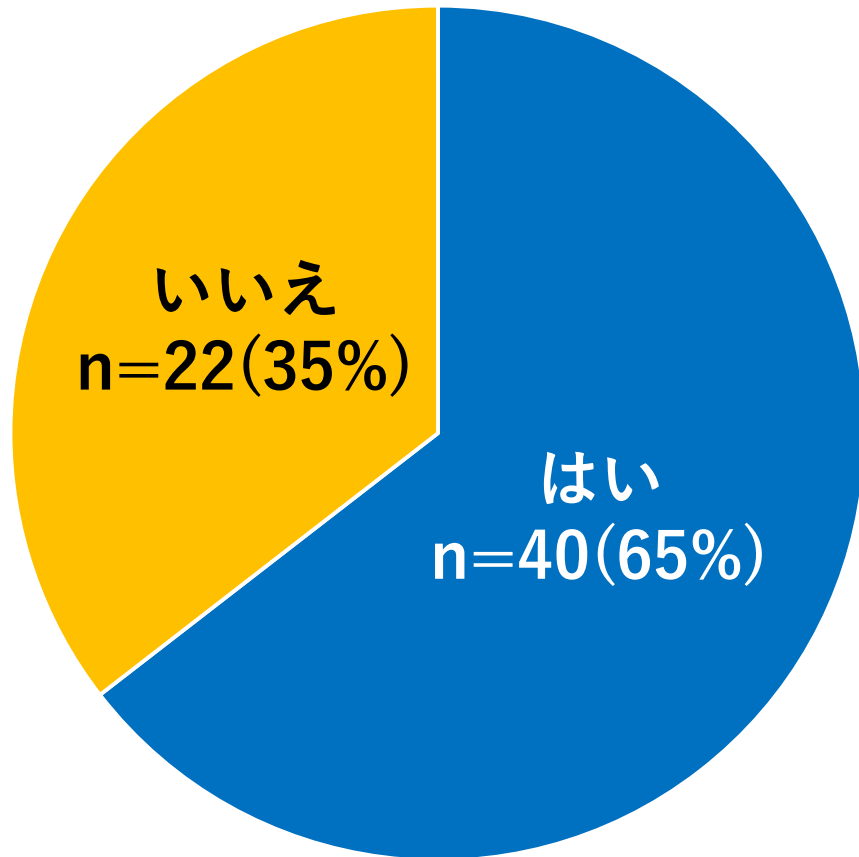
社会福祉法人シナプス

理事長 丸木 雄一 先生

総合討論

質問1 現在発熱外来をやっているか？

全62医療機関



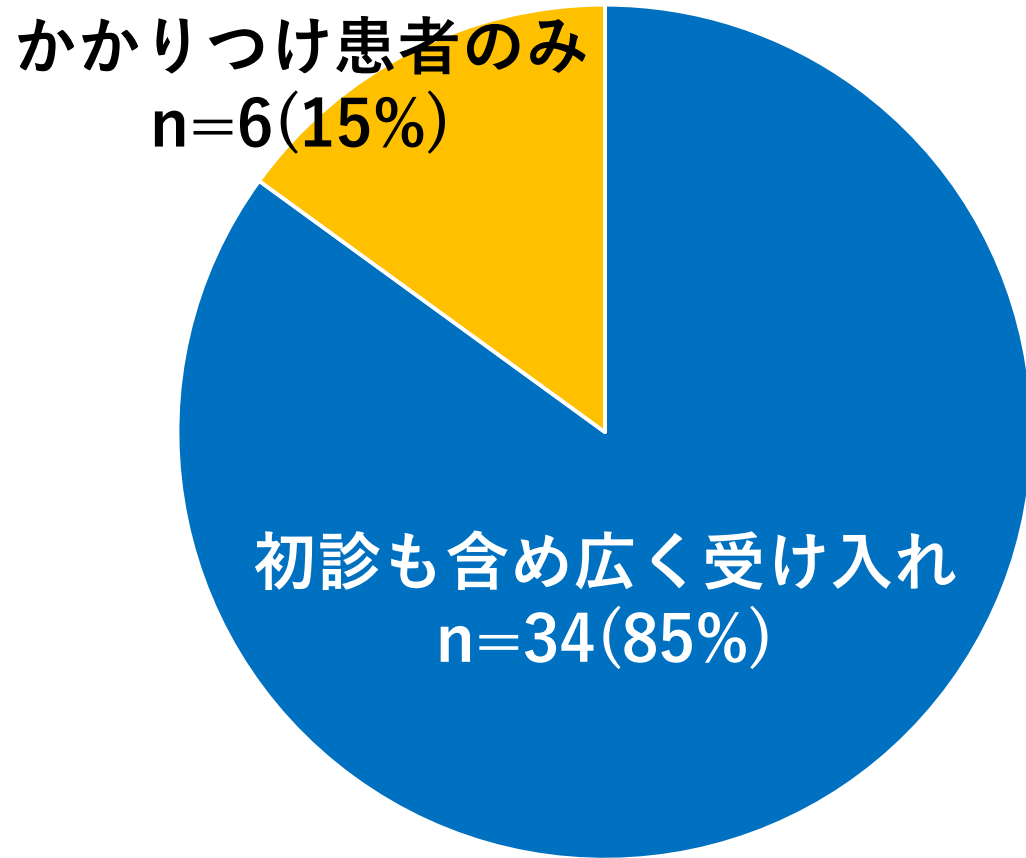
	内科、 小児科、 耳鼻科 n=48	眼科、 産婦人科、 外科他 n=14
はい	38	2
いいえ	10	12

・通常、発熱や風邪症状を診ている内科、小児科耳鼻科の79%が発熱外来をやっている。

・発熱外来をやっている医療機関の95%は内科、小児科、耳鼻科であった。

質問2 現在の発熱外来の対象について

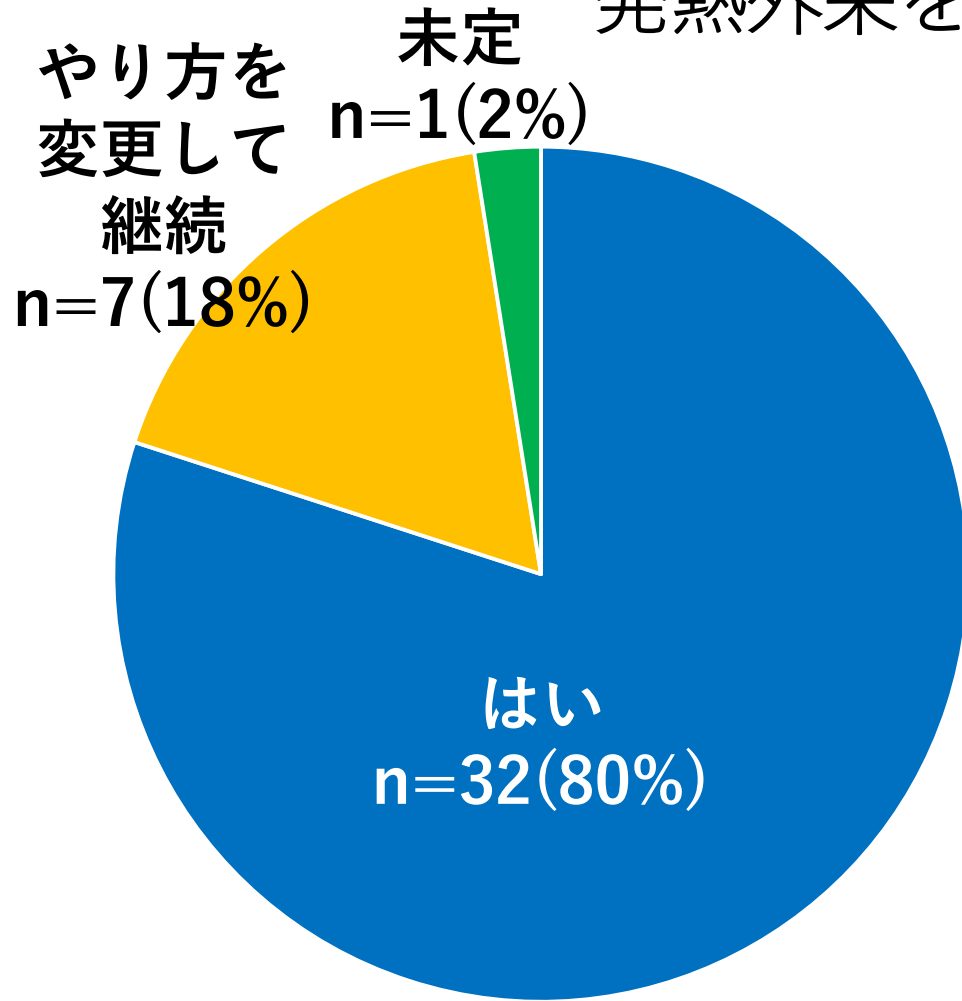
発熱外来をやっている40医療機関



発熱外来の85%が初診も含めて広く患者を受け入れている。

質問3 5類変更後も発熱外来をつづけますか？

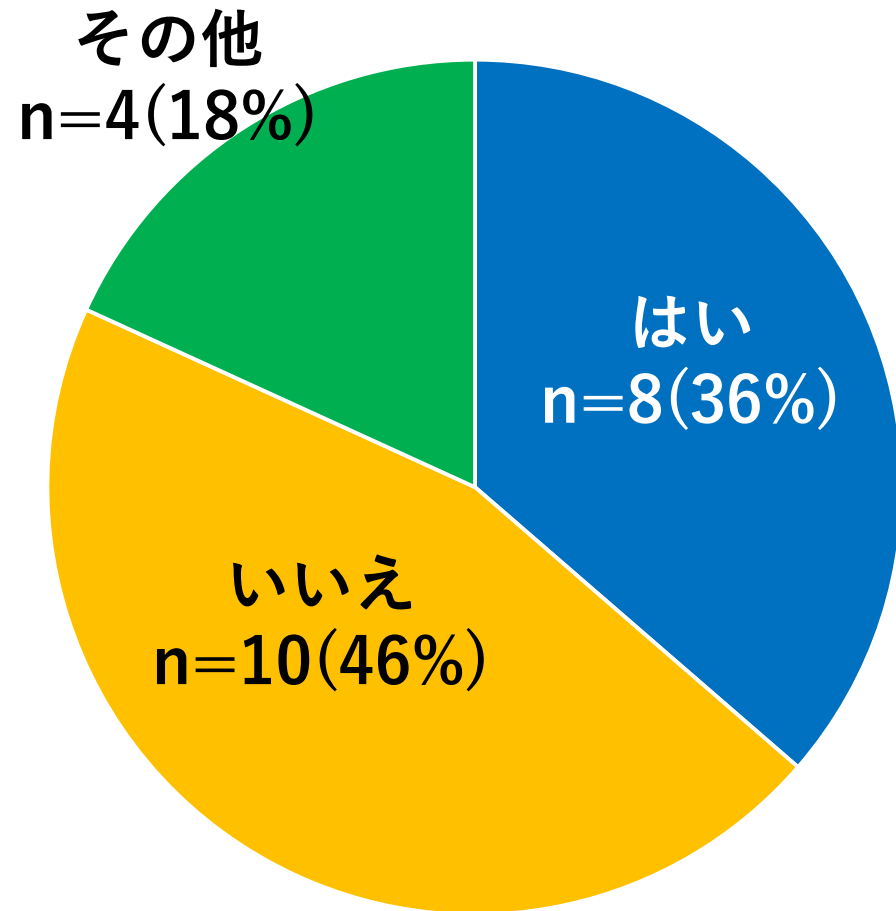
発熱外来をやっている40医療機関



- 98%の医療機関が発熱外来を継続する予定
- 「やり方を変更して継続」の具体例
 - 診察時間の変更
 - 県婦人科医会の指針に従う
 - 通常診療と同様に行なう
 - 5類になったら初診含め広く受入れる
 - 5類になったらかかりつけ患者のみに
- 「未定」のご意見
 - 診療報酬が人件費や資材コストに見合うか見極めてから決める

質問4 5類になったら発熱患者を診察しますか？

発熱外来をやっていない22医療機関



- ・「その他」のご意見
 - ・発熱外来のくくりがなくなれば、インフルエンザ同様に診察します。
 - ・政府の方針次第だが、基本的には診る方向です。
 - ・ゾコーバをタミフルのように処方できるようになれば診察します。
- ・約半数の医療機関が発熱患者（一部はかかりつけ患者のみ）の診察を行なう予定

診療・検査医療機関の指定状況

1 指定医療機関数（R5.6.5現在）

全体	かかりつけのみ	広く受け入れる
1, 7 8 9	5 8 5	1, 2 0 4

2 郡市医師会別状況所管地域ごとの医療機関数

浦和	川口市	大宮	川越市	熊谷市	行田市	所沢市	蕨戸田市
1 5 1	1 3 1	1 4 3	8 8	6 2	1 5	8 3	6 7
北足立郡市	上尾市	朝霞地区	草加八潮	さいたま市与野	入間地区	飯能地区	東入間
8 5	5 2	8 0	6 3	4 5	2 7	2 9	4 8
坂戸鶴ヶ島	狭山市	比企	秩父郡市	本庄市児玉郡	深谷寄居	北埼玉	南埼玉郡市
3 8	3 5	6 5	3 8	4 1	4 7	2 9	7 2
越谷市	春日部市	岩槻	北葛北部	吉川松伏	三郷市		
8 1	5 9	3 3	2 7	2 8	2 7		

まとめ

- **5類変更後、発熱患者を診察する医療機関は増えると思われる。**
 - 発熱外来をやっている医療機関のほとんどが発熱診療をつづける。
 - 発熱外来をやっていない医療機関の半数がかかりつけ患者等の発熱を診察するようになる。
- **多くの医療機関が行政による入院調整の継続を希望している。**
- **公費医療の継続、マスクやガウンの支援、人件費などのコストに見合う診療報酬を希望している。**

中央区内高齢者施設（27施設）

（アンケート回収率 17/26 65%）

嘱託医・往診医がいる	16/17
中央区内の嘱託医・往診医	6/16
与野医師会員が嘱託医・往診医	5/6
非会員が嘱託医	1/6
中央区以外の嘱託医・往診医	10/16
医師会員（ひかり3、夢眠3, 戸田市）	7/10
非会員が嘱託医	3/10

位置づけ変更後の医療提供体制の概要

医療提供体制の移行の方向性

- ✓ 幅広い医療機関で新型コロナウイルス感染症の患者が受診できる医療体制に向けて、必要となる感染対策や準備を講じつつ国民の安心を確保しながら段階的に移行する。
- ✓ 夏や冬に一定の感染拡大が生じることも想定し、これまで対応してきた医療機関に引き続き対応を求めるとともに、新たな医療機関に参画を促すための取組を重点的に進める。

移行に向けた主な取組

- | | |
|----|--|
| 外来 | <ul style="list-style-type: none">✓ 医療機関における感染対策の見直し（学会等のガイドラインに沿いつつ安全性だけではなく効率性も考慮した対応へ見直し）、設備整備や个人防护具の確保等への支援（緊急包括支援交付金による支援）、応招義務の明確化、感染対策や診療方針に関する分かりやすい啓発資料等の作成・周知などを通じて、対応する医療機関の維持・拡大を進める✓ 上記の外来と同様の取組に加え、各都道府県において、新たな医療機関による軽症等の患者の受入れを進めること、医療機関間による入院調整を進めること等を内容とする9月末までの「移行計画」を4月中に策定し、移行を推進する |
| 入院 | <p>【各都道府県の移行計画における具体的な取組の例】</p> <ul style="list-style-type: none">・新たな医療機関による受入について、まずは軽症患者を中心とした受入から始め、計画期間の後半から中等症Ⅰの患者の受入を本格化する・入院調整について、病床情報を医療機関間で共有するITシステムや、妊産婦や小児などのための既存の連携の仕組みを活用することによって、原則として、医療機関間で調整を行う |

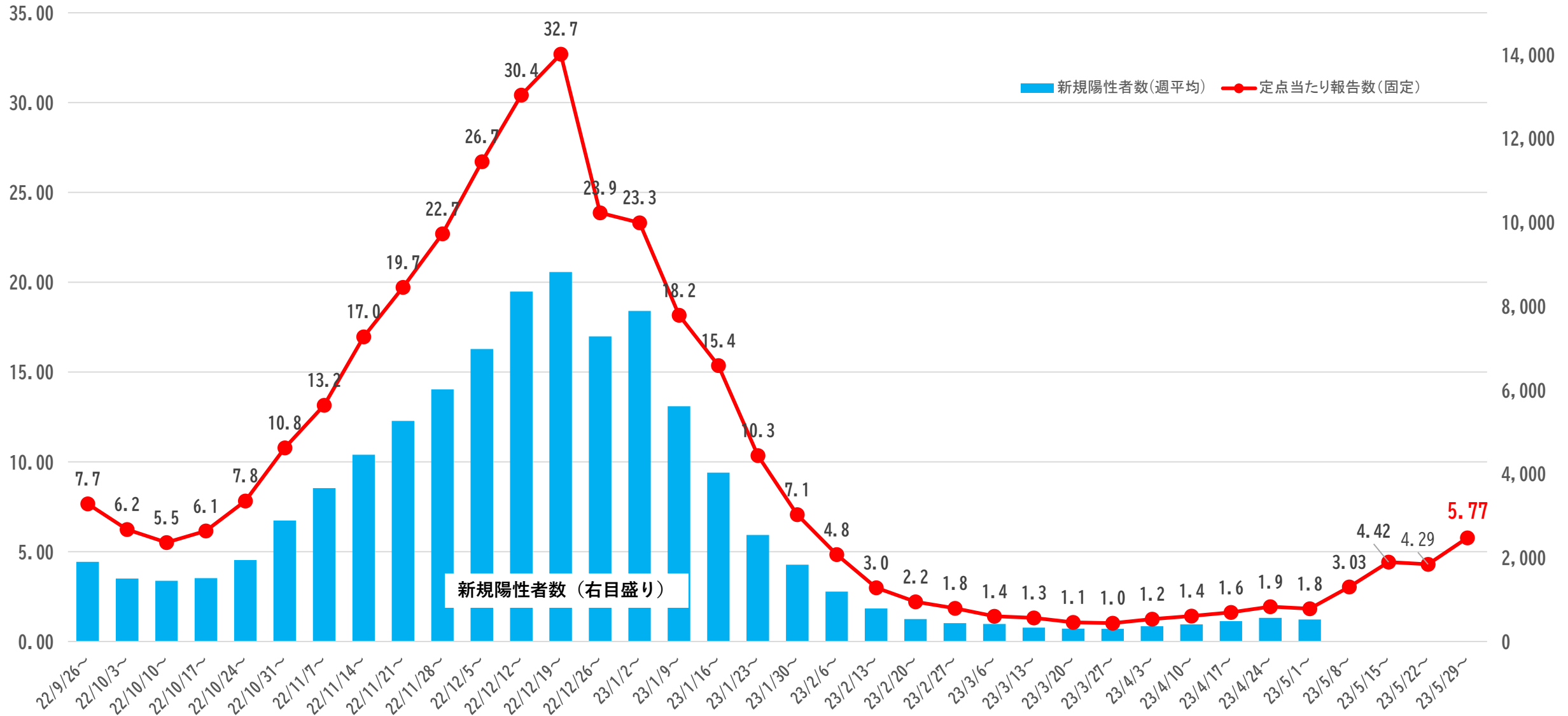
このほか、

- ✓ 高齢者施設や医療機関等でのクラスター対策の継続（陽性者発生時の行政検査、高齢者施設等への医療支援など）
- ✓ オンライン診療、往診、薬剤交付や服薬指導、訪問看護の継続（診療報酬上の特例措置）
- ✓ 発熱時等の受診相談や陽性者の体調急変時の相談の継続（緊急包括支援交付金による支援）

郡市医師会新型コロナウイルス感染症連絡会議 2023/5/15（全郡市医師会参加）



COVID-19 の新規陽性者 定点当たり週別報告数（全県）

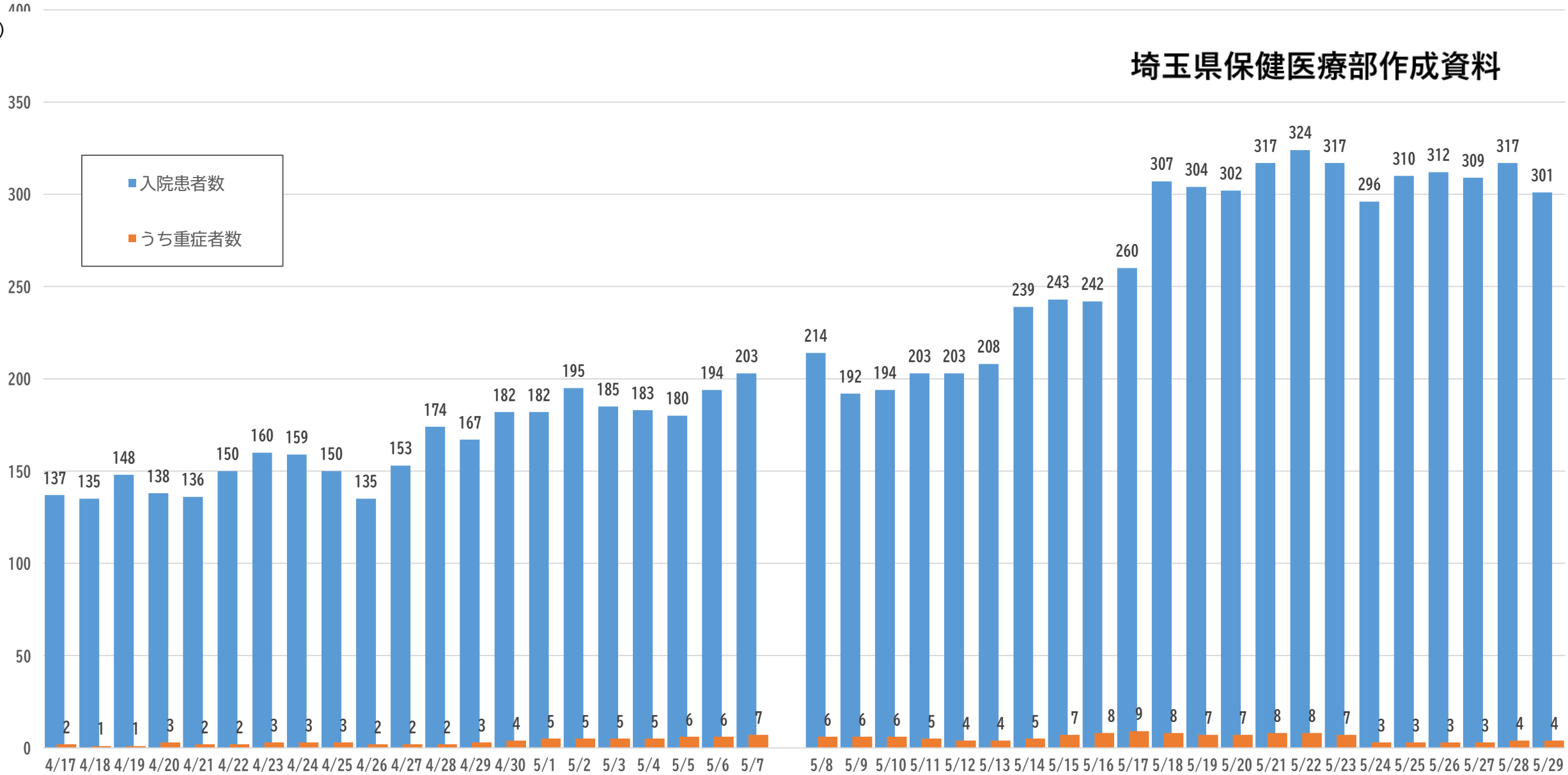


※ 22/9/26~23/5/7においては定点医療機関（261）当たりの週ごとの報告数を日次報告数から算出
埼玉県保健医療部作成資料

入院の状況

(人)

埼玉県保健医療部作成資料



外来のひっ迫状況に関する調査

外来ひっ迫状況調査(G-MIS調査)

期間	回答機関数	外来ひっ迫あり		電話対応支障あり		受付・受診待ち行列あり	
令和5年5月第1週 (5月1日～5月5日)	355	18	5.1%	23	6.5%	28	7.9%
令和5年5月第2週 (5月8日～5月12日)	409	17	4.2%	26	6.4%	22	5.4%
令和5年5月第3週 (5月15日～5月19日)	405	24	5.9%	25	6.2%	26	6.4%
令和5年5月第4週 (5月22日～5月26日)	423	29	6.9%	34	8.0%	26	6.1%

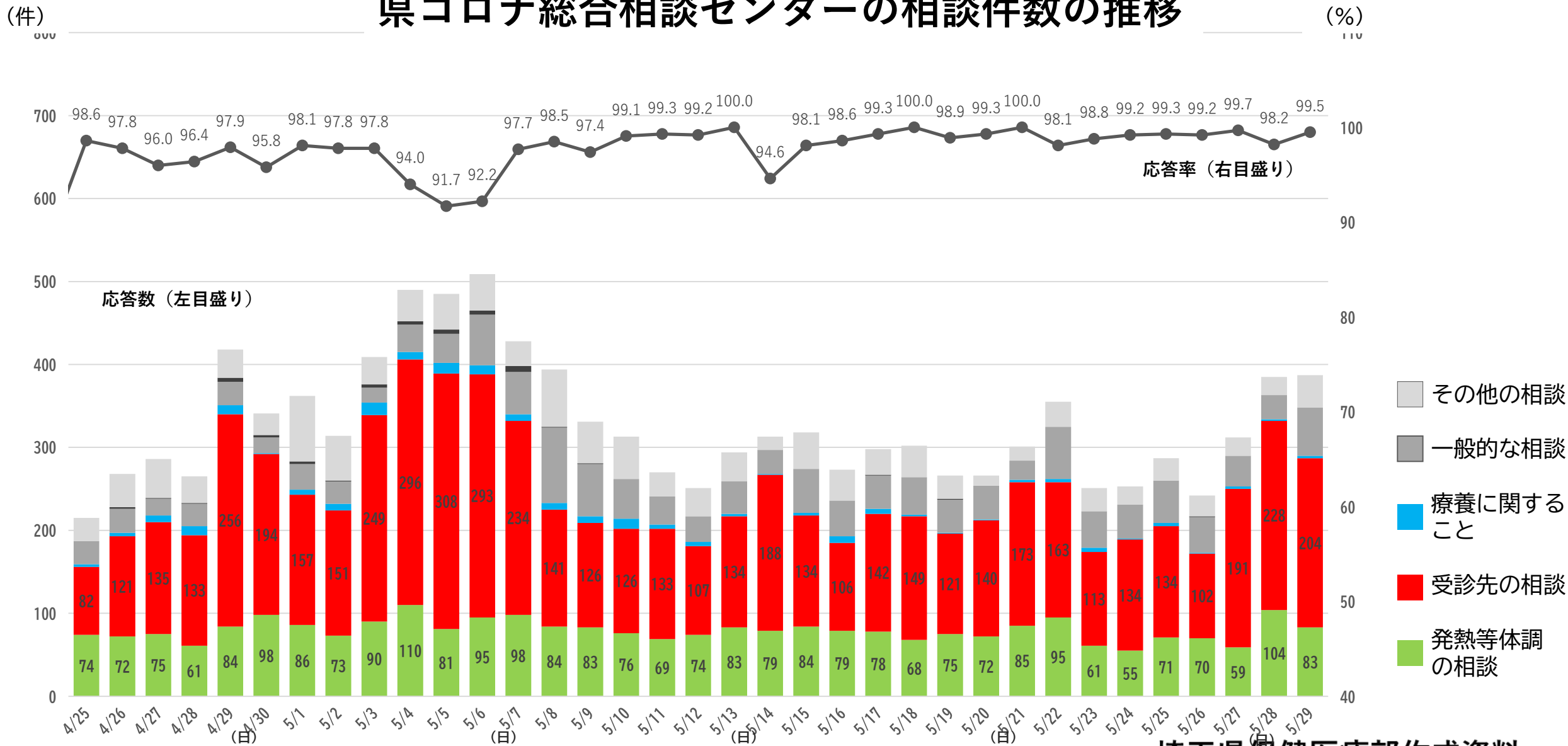
【参考】

期間	回答機関数	外来ひっ迫あり		電話対応支障あり		受付・受診待ち行列あり	
第7波ピーク (令和4年7月25日～7月29日)	327	242	74.0%	261	79.8%	142	43.4%
第8波ピーク (令和4年12月19日～12月23日)	303	159	52.5%	184	60.7%	94	31.0%

※第7波・第8波時は診療・検査医療機関へのアンケート。令和5年5月第1週からは、診療・検査医療機関以外のG-MIS登録医療機関も調査対象

相談件数の状況

県コロナ総合相談センターの相談件数の推移



診療・検査医療機関の指定状況

1 指定医療機関数（R5.6.5現在）

全体	かかりつけのみ	広く受け入れる
1, 7 8 9	5 8 5	1, 2 0 4

2 郡市医師会別状況所管地域ごとの医療機関数

浦和	川口市	大宮	川越市	熊谷市	行田市	所沢市	蕨戸田市
1 5 1	1 3 1	1 4 3	8 8	6 2	1 5	8 3	6 7
北足立郡市	上尾市	朝霞地区	草加八潮	さいたま市与野	入間地区	飯能地区	東入間
8 5	5 2	8 0	6 3	4 5	2 7	2 9	4 8
坂戸鶴ヶ島	狭山市	比企	秩父郡市	本庄市児玉郡	深谷寄居	北埼玉	南埼玉郡市
3 8	3 5	6 5	3 8	4 1	4 7	2 9	7 2
越谷市	春日部市	岩槻	北葛北部	吉川松伏	三郷市		
8 1	5 9	3 3	2 7	2 8	2 7		

感染症法上の位置づけ変更に伴う 高齢者施設等の医療機関との連携体制確保状況について

1 対象施設

特別養護老人ホーム（地域密着型含む）、介護老人保健施設、介護医療院、介護療養型医療施設
認知症グループホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅
短期入所生活介護、短期入所療養介護（2,309施設・775事業所、計**3,084**）

2 確認状況（6月2日現在）

- ・ **2,619**施設等の状況を確認（確認済割合**85%**）
※未確認施設等とのやりとりを継続中

<医療機関との連携体制>

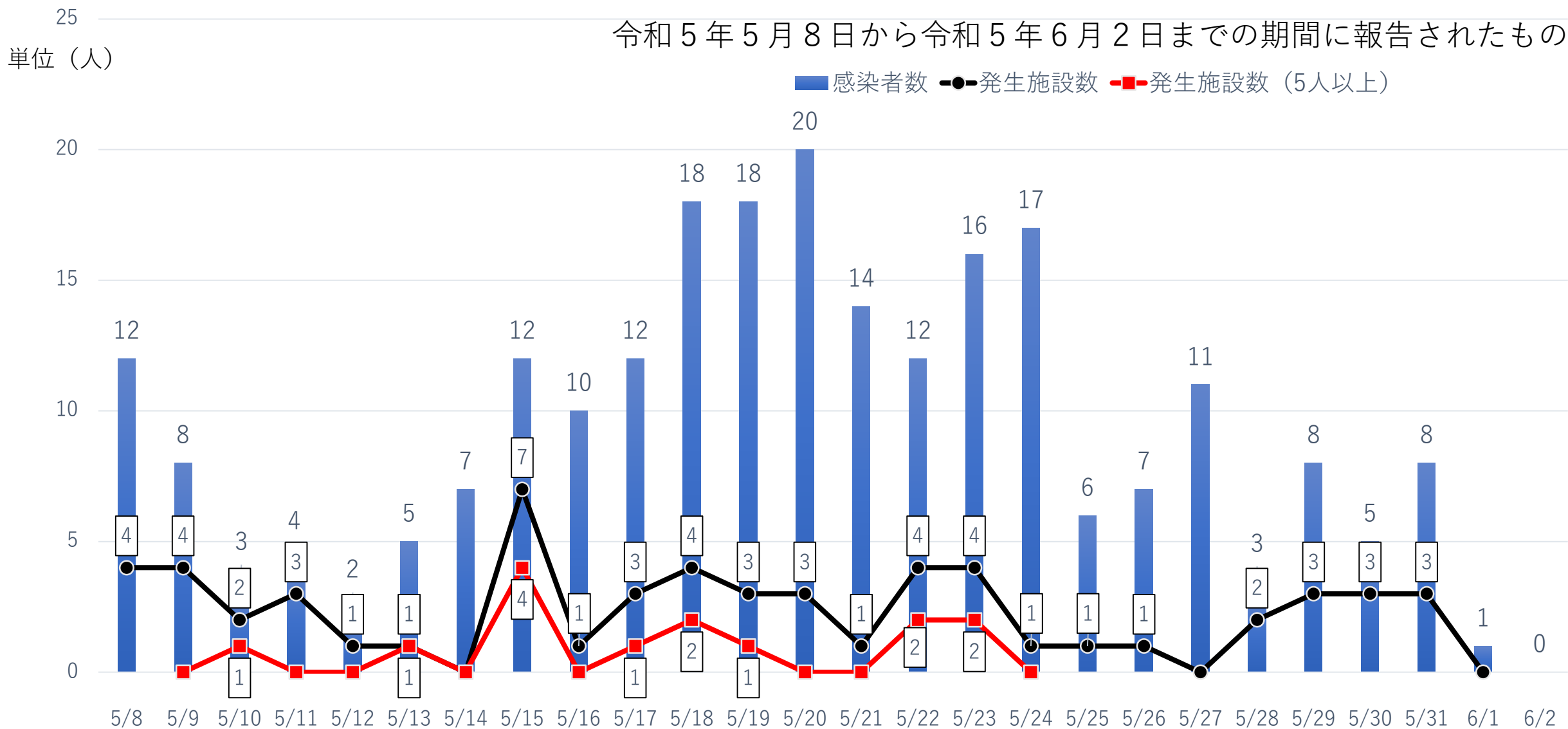
連携が確保できている **2,563**施設 / **3,084**施設（確保率**83%**）

* 確認時の感触

配置医師、協力医療機関とも5類移行に伴い、往診・入院調整等の対応に前向き
配置医師のいない認知症グループホーム、有料、サ高住の支援が必要

高齢者施設における感染発生状況 (感染者数・施設数)

令和5年6月2日現在



埼玉県クラスター対策チーム(COVMAT)について

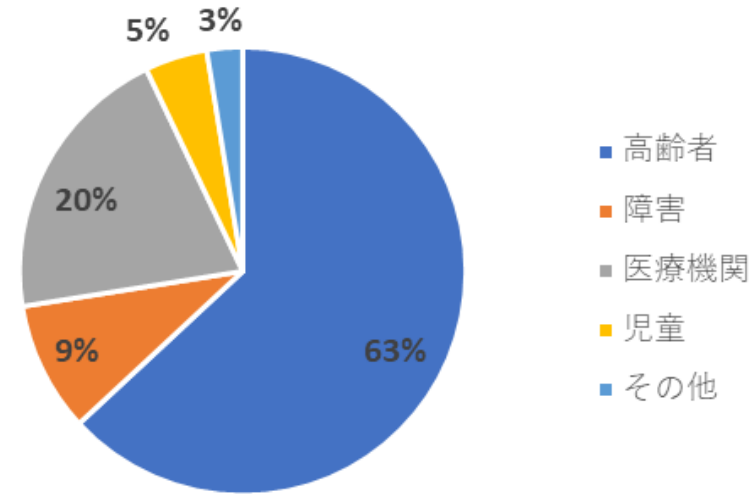
COVID-19のクラスターが形成される恐れのある患者等が発生した際に、今後の感染拡大を最小限にするため現地へ赴き、技術的支援を行う派遣チーム（令和2年7月6日設置）

【5類移行後のCOVMAT】 COVMATは継続します。保健所が主体となり、速やかに派遣

【COVMAT活動実績】

年度	派遣回数
令和2年度	40回
令和3年度	46回
令和4年度	209回
令和5年度（～5/7）	5回
令和5年度（5/8～）	9回
合計	309回

施設分類別派遣割合



COVMAT隊員 県内23チーム

感染対策向上加算 | 病院を中心とした 県内の医師、
感染管理認定看護師が支援に入ります！

後遺症外来 医療機関の申出状況

■ 申出機関数

R5.6.5現在 230機関 (医師会員203 非会員27)

■ 郡市医師会所管地域ごとの医療機関数 (うち、非会員の医療機関数)

浦和	川口市	大宮	川越市	熊谷市	行田市	所沢市	蕨戸田市	北足立郡市	上尾市
19(3)	13(3)	25(7)	15(2)	4	5	10	10(1)	11	10(1)

朝霞地区	草加八潮	さいたま市与野	入間地区	飯能地区	東入間	坂戸鶴ヶ島	狭山市	比企	秩父郡市
9(2)	4(2)	15(1)	3	3(1)	8(1)	3	2	9	5

本庄市児玉郡	深谷寄居	北埼玉	南埼玉郡市	越谷市	春日部市	岩槻区	北葛北部	吉川松伏	三郷市
2	4	4	6	10(1)	5	4(1)	4	2(1)	6

■ 診療科ごとの医療機関数

呼吸器内科分野	耳鼻咽喉科分野	神経内科分野	精神科分野	皮膚科分野	その他 (内科など)
91	58	38	26	27	137